

12月給食だより

令和4年12月16日



川口市立中居小学校

今回の給食だよりは冬休み直前特別号と題しまして、ノロウイルス等を原因とした感染性胃腸炎についてや、予防対策として衛生的な手洗いの方法をまとめさせていただきました。ご家庭でぜひご参考になさっていただければと思います。

ノロウイルスやインフルエンザ対策に

目指せ！手洗いマスター

スタート

- 爪は短く切る
- 指輪・時計ははずす

水で汚れを洗い流す

せっけんを泡立て、手のひらをこする

手の甲をのぼすように洗う

指を一本ずつ、ねじり洗い

握りして指の間をこする

指先、爪の間をこする

手首を握って、くるくるこする

せっけんと汚れを洗い流す

ゴール！

きれいなハンカチなどで拭く

「せっけん洗い⇒流水すすぎ」を2回繰り返す「2度洗い」が効果的です！

☆給食着の補修と点検について☆

2学期の給食終了まで、後3回となりました。なんとか大きな事故もなく、無事に終了できそうです。

さて、今週給食当番だった1～3年生のお子様には、下の図のような点検表を配布させていただきますので、保護者の方に給食着の点検のご協力をお願いいたします。また、ゴムが伸びていたり、縫い目がほつれていたりする場合には、補修もお願いします。しかし、点検・補修後に「△」の“まだ補修の必要あり”となった給食着は22日の木曜日に、給食着お直しボランティアの皆様にも、補修と点検をお願いしております。そして、3学期最初の給食の日には、きちんと直ったものが、各クラスに戻ります。

※補修点検日に忘れてしまうと、次の年まで補修点検が出来ませんので、必ず、忘れずに給食着を持たせていただきますようお願いします。

◇給食着点検表◇

年 組 給食着No.

(または、帽子のアルファベット)

点検項目			
縫い目のほころびはないか。	そでのゴムは伸びていないか。	帽子のゴムは伸びていないか。	ボタンは全部しっかりとついているか。

点検補修済み…○ 補修の必要あり…△ 未点検…/ (斜線)
※上の表にチェックしていただき、給食着袋の中に入れてご提出ください。

冬休み前は、1～3年生分が対象です。4～6年生分は、春休み前に行います。



裏面もあります！

冬は特にご注意ください！

ノロウイルス

による

食中毒

食中毒は夏だけではありません。
ウイルスによる食中毒が
冬に 多発しています!!!

データでみると

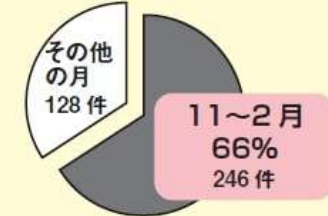
ノロウイルスによる食中毒は、

◆患者数で第1位



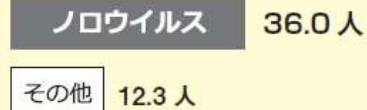
原因別の食中毒患者数 (年間)

◆冬期に多い



ノロウイルス食中毒の発生時期別の件数 (年間)

◆大規模な食中毒になりやすい



食中毒1件あたりの患者数

※出典：食中毒統計（平成24～28年の平均。病因物質が判明している食中毒に限る）

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

調理する人の

健康管理

- 普段から感染しないように食べ物や家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取扱う作業をしない。
- 毎日作業開始前に調理従事者の健康状態を確認し、責任者に報告する仕組みをつくる。

作業前などの

手洗い

- 洗うタイミングは、
 - ◎ トイレに行ったあと
 - ◎ 調理施設に入る前
 - ◎ 料理の盛付けの前
 - ◎ 次の調理作業に入る前
 - ◎ 手袋を着用する前
- 汚れの残りやすいところを洗いぬいで
 - ◎ 指先、指の間、爪の間
 - ◎ 親指の周り
 - ◎ 手首、手の甲

調理器具の

消毒

洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法又はこれと同等の効果を有する方法で消毒する。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

ノロウイルスQ&A

ノロウイルスの感染を広げないために

食器・環境・リネン類などの 消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗浄・消毒します。
- 食器等は、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素消毒液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素消毒液などで消毒します。
 - 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部（ドアノブなど）消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときは、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いし、十分すすぎます。
 - 85℃で1分間以上の熱水洗濯や、塩素消毒液による消毒が有効です。
 - 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

おう吐物などの 処理

- 患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。
 - 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
 - ペーパータオル等（市販される凝固剤等を使用することも可能）で静かに拭き取り、塩素消毒後、水拭きをします。
 - 拭き取ったおう吐物や手袋等は、ビニール袋に密閉して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1000ppmの塩素消毒液に浸します。
 - しぶきなどを吸い込まないようにします。
 - 終わったら、ていねいに手を洗います。

塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。

製品の濃度	食器、カーテンなどの消毒や拭き取り 200ppmの濃度の塩素消毒液		おう吐物などの廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す) 1000ppmの濃度の塩素消毒液	
	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L

- ▶ 製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。
- ▶ 次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。
- ▶ おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。
- ▶ 消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと明記して保管しましょう。

ノロウイルスによる感染について

感染経路	症状
<食品からの感染> <ul style="list-style-type: none"> ● 感染した人が調理などをして汚染された食品 ● ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など <人からの感染> <ul style="list-style-type: none"> ● 患者のふん便やおう吐物からの二次感染 ● 家庭や施設内などでの飛沫などによる感染 	<潜伏時間> 感染から発症まで24～48時間 <主な症状> <ul style="list-style-type: none"> ● 吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1～2日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。 ● 乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。